

第4節

区民参加による環境づくり

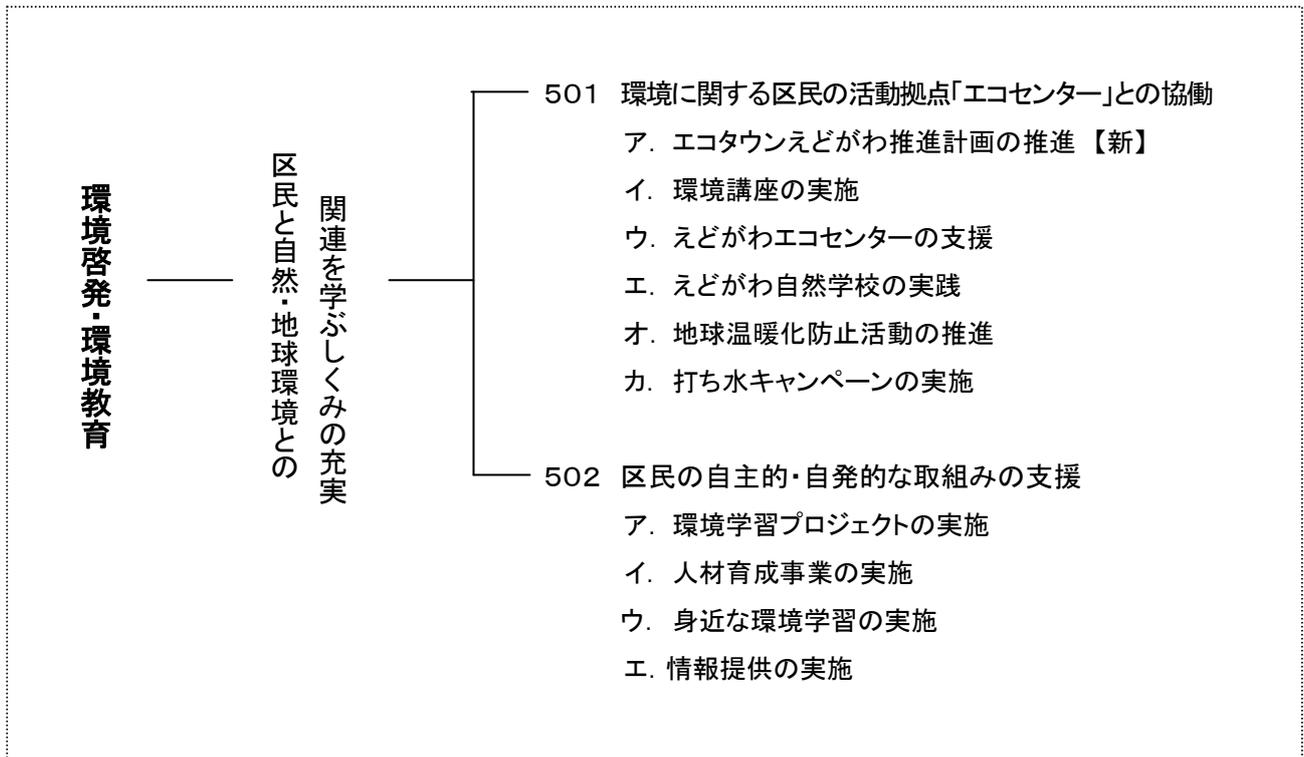
- 1 環境啓発・環境教育
 - (1) 区民と自然・地球環境との関連を学ぶしくみの充実
- 2 資源循環（ごみの減量と資源リサイクル）
 - (1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化
 - (2) 資源リサイクルの拡充
- 3 自然との共生・ふれあい
 - (1) 水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり
 - (2) 自然とのふれあいの拡大
- 4 都市環境問題・有害化学物質への対応
 - (1) 生活環境の改善と保全
 - (2) 新たな環境汚染問題への対応
- 5 地球環境への配慮
 - (1) 地球環境を考慮した区民生活の展開

1 環境啓発・環境教育

【施策の考え方】

一人ひとりが環境に対する高い意識を持てるように、幅広い年齢層が参加できる多様な学習の機会を整えます。特に「暮らしと環境」との関係をわかりやすく体系的に学べるようにするとともに、学校等において、次代を担う子どもたちに環境教育を積極的に行います。また、区民とともに環境啓発、環境教育等を進め、資源循環、自然とのふれあい等の取り組みにつなげます。

【施策体系図】



(1) 区民と自然・地球環境との関連を学ぶしくみの充実

501 環境に関する区民の活動拠点「エコセンター」との協働

地球温暖化防止を図るため、エコタウンえどがわ推進計画*の着実な推進に努めます。併せて、環境問題全般の効果的な対策を推進するため、区民、事業者及び区が連携・協働したえどがわエコセンター*の活動を支援するとともに、もったいない運動えどがわの普及拡大に努めます。

※ エコタウンえどがわ推進計画:地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード	501	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
エコタウンえどがわ推進計画の推進【新】	推進本部の設置		運営	同左
	計画の周知		同左	同左
	イベント等による省エネ活動の普及		同左	同左
	省エネ設備の導入		同左	同左
事業費		4,835千円	4,835千円	4,835千円
環境講座の実施	環境講座 水辺環境調査		同左	同左
事業費		1,823千円	1,823千円	1,823千円
えどがわエコセンターの支援	活動支援		同左	同左
事業費		46,996千円	46,996千円	46,996千円
えどがわ自然学校の実践	活動実施の支援		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
地球温暖化防止活動の推進	もったいない運動 えどがわの拡大		同左	同左
	マイバッグ運動の拡大			
	エコチャレンジの拡大			
	廃食用油のリサイクル の拡大			
	エコカンパニーえどがわ の拡大 表彰			
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
打ち水キャンペーンの実施	打ち水大作戦の実施		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

「—」:事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード501)の中で計上しています。

502 区民の自主的・自発的な取り組みの支援

区民、事業者及び区が連携・協働したえどがわエコセンター※が実施する環境学習プロジェクト、講座・講習、区民のための身近な環境学習等の活動を支援します。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード	502	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
環境学習プロジェクトの実施	グリーンプラン推進校 の拡大		同左	同左
	小中学校 の環境学習支援		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
人材育成事業の実施	環境学習リーダー 養成講座		同左	同左
	生ごみリサイクル講習会		同左	同左
事業費		1,015千円	1,015千円	1,015千円
身近な環境学習の実施	自然環境・生活環境・ 地球環境分野の 各セミナーの支援		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
情報提供の実施	情報紙、リーフレット等 の発行支援		同左	同左
	ホームページの運用支援		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

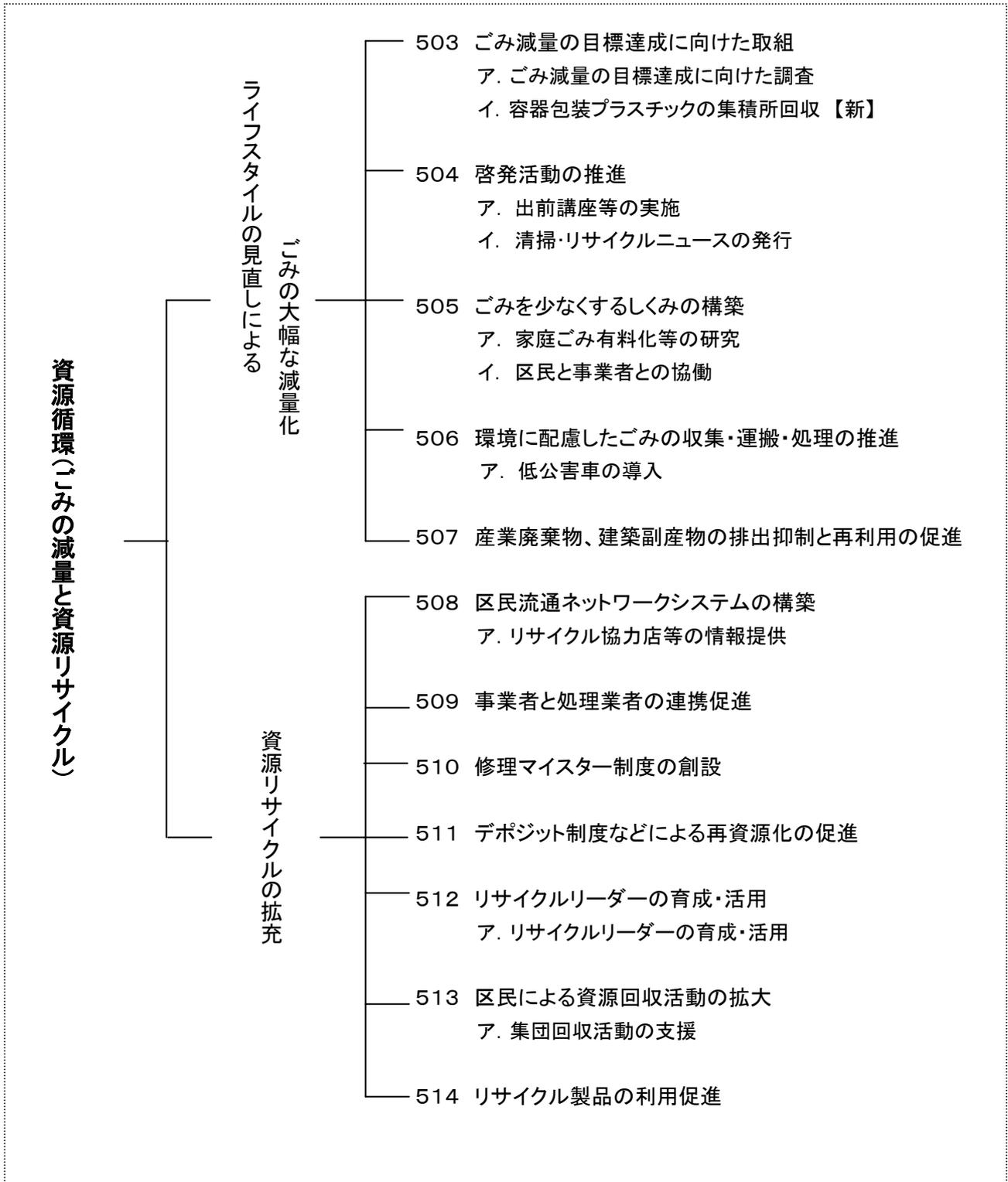
「—」:事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード501)のなかで計上しています。

2 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)

【施策の考え方】

ごみの量は、平成11年10月から実施した資源回収事業の全区展開により一時減少しましたが、現在は人口増等により微増傾向にあり、ごみの減量をより一層推進することが必要です。限りある資源を大切にするために、区民と事業者が協力するとともに、効率的に3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))を推進し、清掃事業と一体となった循環型社会形成に向けたしくみづくりが求められています。

【施策体系図】



(1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化

503 ごみ減量の目標達成に向けた取組

「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、平成 33 年度までに平成 12 年度に比べて20%のごみ減量を図るため、資源化可能物である容器包装プラスチックのリサイクルを推進し、集積所回収の実施に努めます。

施策コード	503	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
ごみ減量の目標達成に向けた調査		組成調査	同左	同左
事業費		3,000千円	3,000千円	3,000千円
容器包装プラスチックの集積所回収【新】		区内全域において実施	同左	同左
事業費		722,236千円	722,236千円	722,236千円

504 啓発活動の推進

ごみ減量・リサイクルに関する取り組みを拡大するため、学校、町会自治会等を単位として出前講座等の啓発活動を推進します。

また、ごみ減量の方法及びリサイクルの効果について、清掃・リサイクルニュースを発行し、3R(発生抑制、再使用、再資源化)の啓発等に努めます。併せて、区立小学校4年生全員に環境教育冊子「えどがわくのごみダイエットにチャレンジ」を配付し、環境学習の促進を図ります。

施策コード	504	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
出前講座等の実施		講座、見学会の開催	同左	同左
		講座講師の派遣	同左	同左
		イベントにおけるPR活動	同左	同左
事業費		2,007千円	2,007千円	2,007千円
清掃・リサイクルニュースの発行		「ごみダイエット」の発行 年3回	同左	同左
		環境教育冊子の配付	同左	同左
事業費		4,282千円	4,282千円	4,282千円

505 ごみを少なくするしくみの構築

新たな資源回収品目を検討するとともに、ごみ減量に努力した人ほど効用が生じる方策として、家庭ごみの有料化等について研究します。

また、小売店(商店会)、スーパーマーケット等の事業者に対して、ごみの発生抑制を働きかけるとともに、レジ袋削減に努めている「マイバック運動推進店」、ごみ減量に配慮した取り組みを行う「エコストア協力店」等を広く情報提供します。併せて、マイバッグの持参、環境に配慮した商品の購入を区民等に呼びかけ、ごみの発生が少なくなるライフスタイルの確立の促進に努めます。

施策コード	505	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
家庭ごみ有料化等の研究		情報収集 調査研究	同左	同左
事業費		0千円	※※※千円	※※※千円
区民と事業者との協働		マイバック運動推進店 等の情報提供	同左	同左
		マイバッグコンテスト の実施	同左	同左
事業費		927千円	927千円	927千円

506 環境に配慮したごみの収集・運搬・処理の推進

ごみ収集の直営車両の買い替えに当たっては、低公害車の購入を継続するとともに、雇上車両についても、引き続き、低公害車の使用を促すよう働きかけます。

施策コード	506	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
低公害車の導入		廃車車両分の買い替え 〔 小型プレス車 4 台 新大型特殊車 1 台 〕	廃車車両分の買い替え 〔 小型プレス車 6 台 新大型特殊車 1 台 〕	廃車車両分の買い替え 〔 小型プレス車 6 台 〕
事業費		39, 100千円	53, 000千円	41, 700千円

507 産業廃棄物、建築副産物の排出抑制と再利用の促進

建設リサイクルの届出及び分別解体を確実に推進するため、届出の徹底、意識啓発等を図るとともに、引き続き現場パトロールの実施を推進します。

(2)資源リサイクルの拡充

508 区民流通ネットワークシステムの構築

区民自らが主体的に再利用を推進できるよう、区内のリサイクルショップ、修理店、リサイクルバンク、リサイクルマーケット等の情報を広く提供します。

施策コード	508	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
リサイクル協力店等の 情報提供	情報収集		同左	同左
	ホームページ等による 情報提供		同左	同左
事業費		128千円	128千円	128千円

509 事業者と処理業者の連携促進

家電製品等の資源リサイクルを確実、かつ、より効果的に行うため、事業者、処理業者及び区が必要な情報交換を適宜行えるよう連携の促進を図ります。

510 修理マイスター※制度の創設

ものを長く大切に使うため、事業者等の技術を活用して、「修理マイスター制度」に向けた人材育成に取り組みます。

※ **マイスター**:ドイツのものづくりの「親方」。「親方」の下で修行して一人前に」という中世からのものづくりのシステムを国家資格として整備したものがドイツのマイスター制度。

511 デポジット制度※などによる再資源化の促進

国及び事業者に対して再資源化品目の拡大の要請等を行うことに努めます。

また、デポジット制度については、その導入を国に働きかけるとともに、イベント時のリユースカップの導入等の先進的な取り組みを検討します。

※ **デポジット制度**:ビールびん等のように、預り金、保証金等を取り、返却時に返金することにより、確実な返却を促すためのシステム。

512 リサイクルリーダーの育成・活用

リサイクルに関心のある区民を対象とする講座、見学会等を開催し、リサイクルリーダーを養成します。併せて、講習会修了者に対しては、講習会で得た知識の普及等、ごみ減量・リサイクル活動の中心となるよう活動を支援します。

施策コード	512	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
リサイクルリーダー の育成・活用	講習会の実施		同左	同左
	リサイクルリーダーの派遣		同左	同左
	活動支援		同左	同左
事業費		541千円	541千円	541千円

513 区民による資源回収活動の拡大

資源リサイクルを図るため、区民が主体となる集団回収活動を積極的に拡大します。

また、実施団体が安定的に運営できるよう、報奨金の支給、回収補助用具の支援等を行うとともに、未実施団体への働きかけを進めます。併せて、回収業者に対しても安定的な回収ができるよう支援します。

施策コード	513	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
集団回収活動の支援		活動の支援 (実施団体600団体)	活動の支援 (実施団体610団体)	活動の支援 (実施団体620団体)
事業費		121,491千円	122,500千円	123,500千円

514 リサイクル製品の利用促進

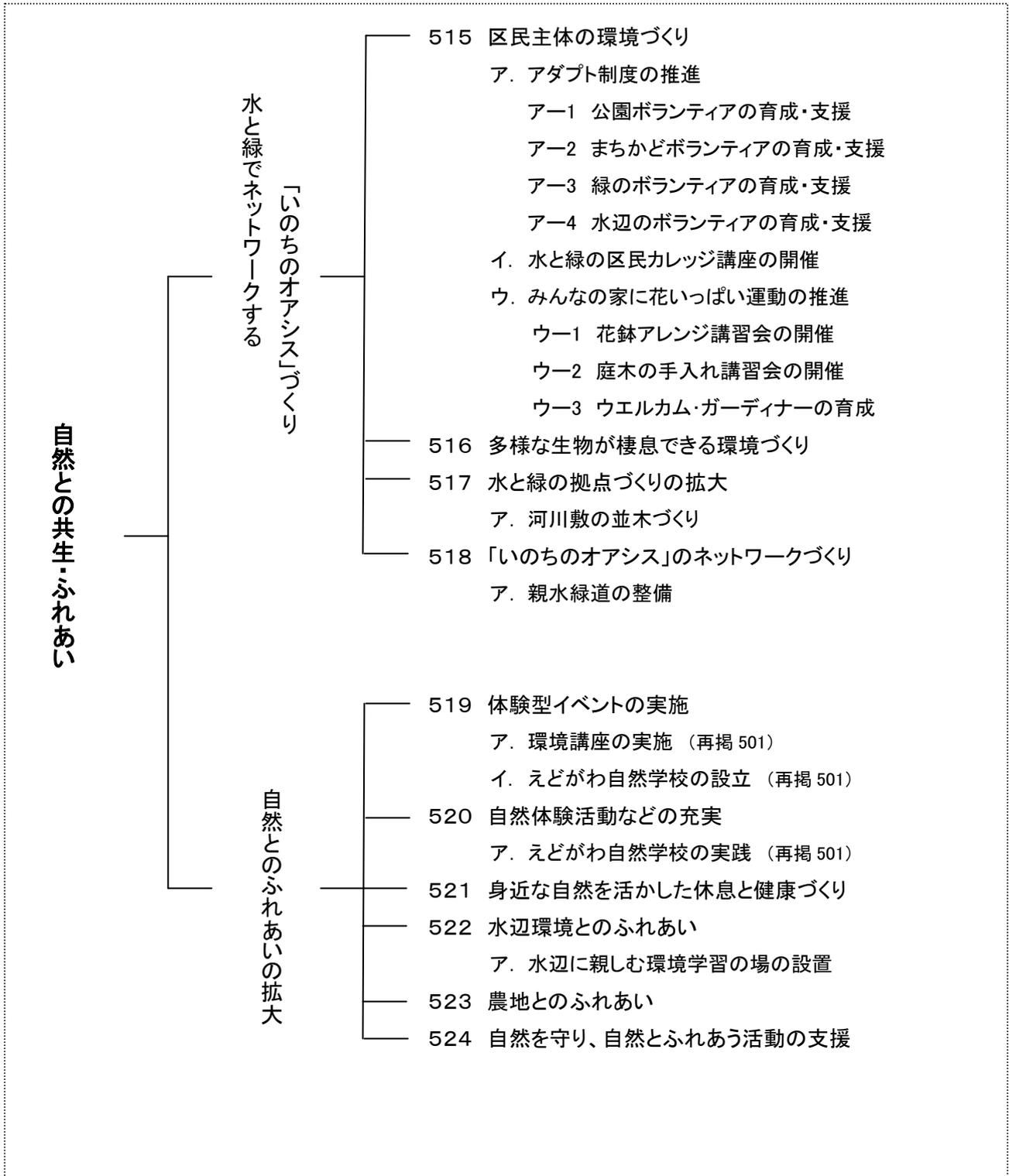
資源リサイクルを促進するため、区は事業者として、自らリサイクル製品の購入を促進するとともに、区民、事業者等のリサイクル製品の購入(グリーン購入)の促進を図ります。

3 自然との共生・ふれあい

【施策の考え方】

区には、区民の保全活動に支えられ、水と緑豊かな自然を活かしたうらおいの感じられる生活空間が形成されています。この特長を活かし、様々な生き物が棲む「いのちのオアシス」づくり、「花と緑の拠点」づくり等を進め、誰もが気軽に水と緑に親しめるような環境を整備します。また、これらの環境を利用して、自然とふれあうことのできる機会を充実します。

【施策体系図】



(1)水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり

515 区民主体の環境づくり

区民相互の交流の促進、相談支援、情報の収集・提供等に努めるとともに、えどがわエコセンター*との連携を図りながら、講習会、自然観察会等の開催等を行い、環境づくりのための様々な区民の活動を支援します。

また、みんなの家に花いっぱい運動を推進し、四季おりおりの花と緑があふれるまちづくりを進めます。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード		515	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度	
アダプト* ※制度の推進	公園ボランティアの育成・支援	公園ボランティア連絡会の支援等	同左	同左	
	事業費	6,003千円	6,003千円	6,003千円	
	まちかどボランティアの育成・支援	活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	101千円	101千円	101千円	
	緑のボランティアの育成・支援	アダプトサインの設置	同左	同左	
		活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	3,111千円	3,111千円	3,111千円	
	水辺のボランティアの育成・支援	水辺の活動交流会等の支援	同左	同左	
事業費	2,660千円	2,660千円	2,660千円		
水と緑の区民カレッジ講座の開催		23講座	24講座	25講座	
事業費		8,617千円	8,820千円	9,020千円	
みんなの家に花いっぱい運動の推進	花鉢アレンジ講習会の開催	14会場	15会場	同左	
	事業費	614千円	657千円	657千円	
	庭木の手入れ講習会の開催	講習会 9会場	同左	同左	
		花と緑の相談所 12会場	同左	同左	
	事業費	188千円	188千円	188千円	
ウェルカム・ガーディナーの育成	5会場	同左	同左		
事業費	765千円	765千円	765千円		

※ アダプト制度:道路、河川、公園等の公共スペースで実施する清掃等のボランティア活動。

516 多様な生物が棲息できる環境づくり

区民に身近なところで、より多様な生物が棲息できる環境づくりを推進するため、IT等を活用したわかりやすい情報提供に努めます。また、干潟・樋門における自然環境の復元・再生について、国土交通省に事業化を要請します

517 水と緑の拠点づくりの拡大

区内七つの河川の堤防天端及び河川敷への桜を主とした植栽を計画的に実施し、環境整備に努めます。

施策コード	517	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
河川敷の並木づくり	新川・旧中川他 桜等 120本	同左	同左	
事業費	22,000千円	22,000千円	22,000千円	

518 「いのちのオアシス」のネットワークづくり

地域の憩いの場となる利用の促進を図るとともに、生態系に配慮した、より自然に近い親水緑道の整備を図ります。

施策コード	518	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
親水緑道の整備	本郷用水(工事)			
事業費	177,240千円			

(2) 自然とのふれあいの拡大

519 体験型イベントの実施

えどがわエコセンター※で実施する自然学習会、セミナー等の環境講座を支援します。また、えどがわエコセンター※と連携を図りながら、水辺環境調査を実施します。

※ えどがわエコセンター：江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード	519	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
環境講座の実施 再掲 501	環境講座 水辺環境調査	同左	同左	
事業費	1,823千円	1,823千円	1,823千円	
えどがわ自然学校の実践 再掲 501	活動実施の支援	同左	同左	
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	

「—」：事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード 501)のなかで計上しています。

520 自然体験活動などの充実

篠崎公園、総合レクリエーション公園、葛西臨海公園等の大規模公園、親水公園、河川敷、プレイパーク(冒険遊び場)等の活用を図りながら、自然の中で気軽に楽しく指導を受けることができる自然体験活動の充実を図ります。

また、えどがわエコセンターで実施する自然学習会等の環境講座を支援します。

施策コード	520	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
えどがわ自然学校の実践 再掲 501		活動の支援	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

「—」:事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード 501)のなかで計上しています。

521 身近な自然を活かした休息と健康づくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

522 水辺環境とのふれあい

えどがわエコセンターとの連携を図りながら、豊かな水辺空間を活用した環境学習の場づくりを行います。

また、江戸川、荒川等における住民活動を推進するとともに、河川環境の充実に向けて流域自治体間の交流及び連携の促進を図ります。

施策コード	522	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容				
水辺に親しむ環境学習の場 の設置		環境学習の場として活用 3か所	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

523 農地とのふれあい

農地を身近な自然としてとらえ、保全及びその活用を図るとともに、区民農園、ふれあい農園等を充実し、区民が農業体験を通じて自然とふれあうことのできる機会の提供に努めます。また、農家の協力を得ながら、子供たちが農業体験できるような機会の充実を図ります。

524 自然を守り、自然とふれあう活動の支援

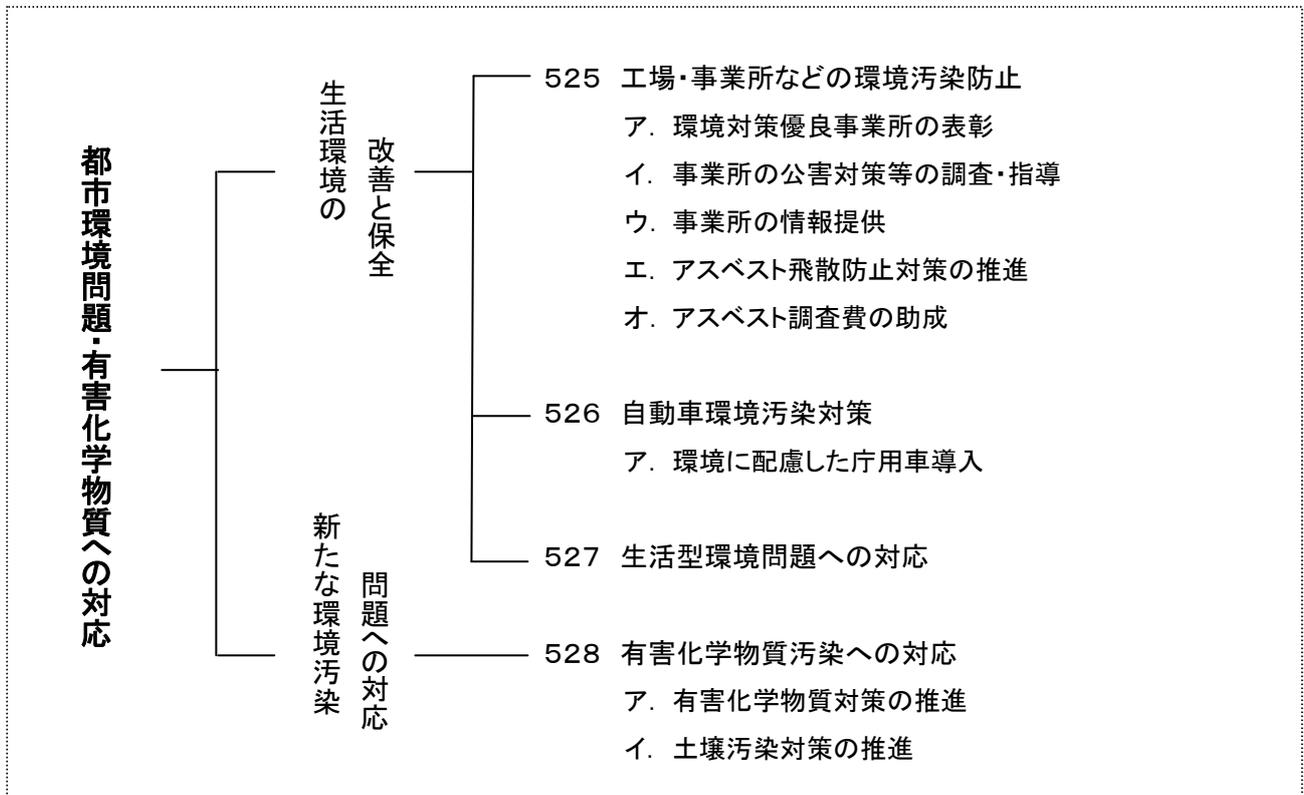
花、緑等を育てる活動、水辺の清掃活動、自然観察会等、区民、ボランティア、NPO 等による自然を守り、自然とふれあう活動を支援します。また、自然を守り、自然とふれあう人の輪を広げるため、情報技術等を活用しながら、これらの活動の情報提供を推進します。

4 都市環境問題・有害化学物質への対応

【施策の考え方】

区民の暮らしに影響を及ぼす都市環境問題、有害化学物質等について、ライフスタイル、事業活動等を根本的に見直すとともに、国及び都と協力しながら、区民、事業者等とともに対応します。また、問題の発生及び被害の拡大を防止するための情報の共有化を図り、リスクの低減に努めます。

【施策体系図】



(1)生活環境の改善と保全

525 工場・事業所などの環境汚染防止

工場、事業所等の環境に配慮した取り組みに対する相談及び助言、情報の提供、優良事業所の表彰制度、環境保全のための設備導入を促進する融資制度等の推進を図ることにより、事業者が行う環境保全活動を支援します。

また、工場、事業所等に対する指導を適確に実施するとともに、新たに事業所を立地する場合には、その適正な誘導に努めます。特に建物解体工事等に当たっては、アスベストの飛散防止の指導を徹底します。

施策コード	525	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
環境対策優良事業所の表彰		優良事業所の表彰 (環境をよくする運動 中央大会において実施)	同左	同左
事業費		19千円	19千円	19千円
事業所の公害対策等 の調査・指導		対象 900事業所	対象 600事業所	対象 800事業所
事業費		2,916千円	2,916千円	2,916千円
事業所の情報提供		ホームページ等 による情報提供	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
アスベスト飛散防止対策 の推進		建物解体工事対策	同左	同左
		区内環境測定の実施	同左	同左
事業費		1,600千円	1,600千円	1,600千円
アスベスト調査費の助成		40件	同左	同左
事業費		2,000千円	2,000千円	2,000千円

526 自動車環境汚染対策

江戸川区環状七号線沿道地区計画に基づき、自動車騒音により生じる障害の防止及び沿道の適切な土地利用の促進を図ります。

また、江戸川区環境行動計画に基づき、庁用車の購入に当たっては、低公害車及び低燃料車の導入を促進するとともに、既存の庁用車に後付けアイドリングストップ装置を装着します。

施策コード	526	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
環境に配慮した庁用車導入		導入率58% (超低公害車換算)	導入率60% (超低公害車換算)	導入率63% (超低公害車換算)
		アイドリングストップ装置 の装着		
事業費		3,465千円	※※※千円	※※※千円

527 生活型環境問題への対応

近隣騒音等の生活型環境問題について、地域が自ら解決を図れるよう、啓発活動を推進するとともに、相談体制を充実します。併せて、社会生活の多様化等で生じる新たな環境問題について、迅速・的確に情報収集を行い、区民等と連携しながら、その問題の解決に努めます。

(2) 新たな環境汚染問題への対応

528 有害化学物質汚染への対応

国及び都との連携を図りながら、有害化学物質の把握に努め、事業者の適正な管理・使用を指導するとともに、的確な情報提供を行います。また、事業者の協力を得ながら、有害化学物質による汚染防止対策を推進します。

施策コード	528	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
有害化学物質対策の推進		事業場の調査、指導、及び情報提供の実施	同左	同左
事業費		510千円	510千円	510千円
土壌汚染対策の推進		有害物取扱事業場の指導及び啓発の実施	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

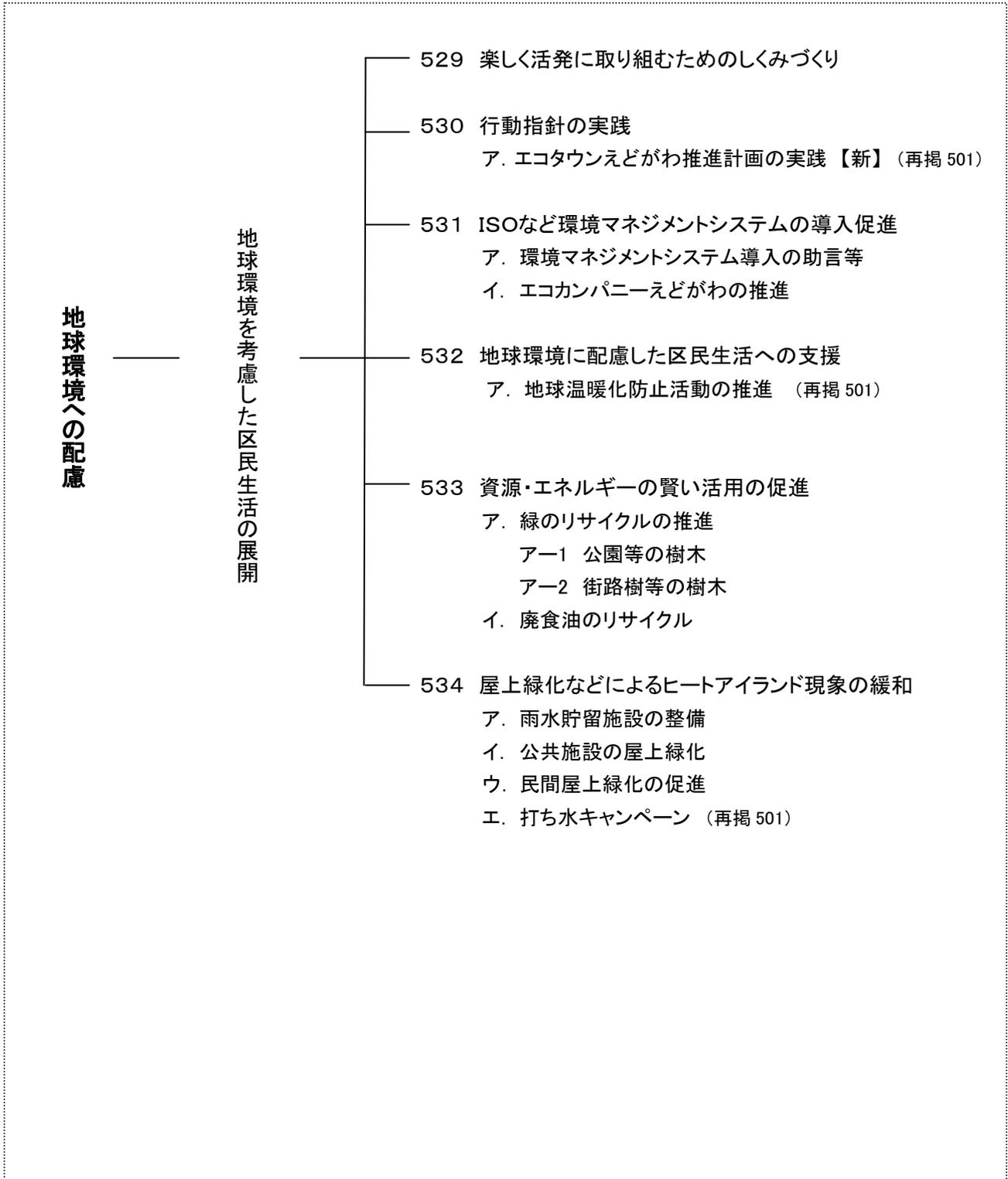
「—」:事業費は、事業所の公害対策等の調査・指導(施策コード525)のなかで計上しています。

5 地球環境への配慮

【施策の考え方】

電気、ガソリン等のエネルギーは、快適で便利な生活をおくるために不可欠なものですが、一方で二酸化炭素、排気ガス等を排出する等地球環境に負荷を与えています。地球温暖化を防止し、国際社会と協調しながら、温室効果ガスの削減のための取り組みの推進を図るため、環境に与える負荷をできる限り少なくし、区民、事業者等が地球環境に配慮した生活、事業活動等を促進する江戸川区独自の取り組みを進めます。

【施策体系図】



(1)地球環境を考慮した区民生活の展開

529 楽しく活発に取り組むためのしくみづくり

環境保全のための区民、ボランティア等の活動が楽しく活発に行われるよう、様々なしくみを研究します。

530 行動指針の実践

地球温暖化防止を図るため、推進本部を設置し、エコタウンえどがわ推進計画[※]の周知及び着実な推進に努めます。

※ エコタウンえどがわ推進計画:地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

施策コード	530	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
エコタウンえどがわ推進計画 の推進【新】再掲501	推進本部の設置		運営	同左
	計画の周知		同左	同左
	イベント等による 省エネ活動の普及		同左	同左
	省エネ設備の導入		同左	同左
事業費		4,835千円	4,835千円	4,835千円

531 ISOなど環境マネジメントシステムの導入促進

ISO14001[※]、エコアクション21[※]等に基づく環境マネジメントシステムの導入・運営に必要な知識・技術等の習得の機会を提供します。併せて、えどがわエコセンター[※]と連携しながら、区独自の環境取組制度「エコカンパニーえどがわ」事業[※]の普及促進を図り、事業者の地球温暖化防止等の環境に配慮した自主的な取り組みを支援します。

※ ISO14001 シリーズ(環境マネジメントシステム):国際標準化機構(ISO)が定めた環境管理システムと環境監査に関する国際規格

※ エコアクション21:環境省が策定した中小事業者でも取り組みやすい環境活動評価のプログラムで、認証登録制度もある。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

※ 「エコカンパニーえどがわ」事業:環境活動の取り組みに対する宣言をした事業者を、「環境取組事業所」として区に登録し、年一回、その活動を報告する制度。

施策コード	531	年次計画		
		20年度	21年度	22年度
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
環境マネジメントシステム 導入の助言等	情報収集 及び情報提供		同左	同左
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円
エコカンパニーえどがわ の推進	参加事業所拡大の広報		同左	同左
	事業者取組の支援		同左	同左
事業費		1,000千円	1,000千円	1,000千円

「—」:事業費は、工場・事業所等の環境汚染防止(施策コード525)のなかで計上しています。

532 地球環境に配慮した区民生活への支援

えどがわエコセンターと連携を図りながら、地球温暖化防止及びごみ減量に取り組む「もったいない運動えどがわ」を拡大して実施します。

施策コード	532	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
地球温暖化防止活動の推進 再掲 501		もったいない運動 えどがわの拡大	同左	同左
		マイバッグ運動の拡大		
		エコチャレンジの拡大		
		廃食用油のリサイクル の拡大		
		エコカンパニーえどがわ の拡大 表彰		
事業費		—— 千円	—— 千円	—— 千円

「—」: 事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード:501)のなかで計上しています。

533 資源・エネルギーの賢い活用の促進

剪定枝のチップ化を推進し、公園等の肥沃化を図ります。また、落葉の堆肥化を推進し、啓発に努めます。併せて、樹木の管理作業に伴う剪定枝葉の有効利用を図るため、チップ化、堆肥化等を活用する研究を推進し、リサイクルを促進します。また、事業所、学校等から回収した廃食油によってBDF(バイオディーゼル燃料)を製造し、その利用の促進に努めます。

施策コード	533	年次計画		
計画事業内容		20年度	21年度	22年度
緑のリサイクルの推進 公園等の樹木		リサイクル率 100%	同左	同左
		剪定枝のチップ化 1,200m ³	同左	同左
		落葉の腐葉土化 800m ³	同左	同左
事業費		13,200千円	13,200千円	13,200千円
街路樹等の樹木		リサイクル率 90%	リサイクル率 100%	同左
		剪定枝のチップ化 1,300m ³	剪定枝のチップ化 1,400m ³	同左
		チップの腐葉土化 150m ³	チップの腐葉土化 150m ³	同左
事業費		14,000千円	15,000千円	15,000千円

廃食油のリサイクル	「えどがわ油田開発プロジェクト」の支援	同左	同左
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円

「—」:事業費は、えどがわエコセンターの支援(施策コード:501)のなかで計上しています。

534 屋上緑化などによるヒートアイランド現象※の緩和

公共施設の屋上緑化を推進するとともに、住宅等整備事業における基準等に関する条例※に基づいた民間敷地内の緑化、屋上緑化、駐車場設置部分等に透水性舗装※、保水性舗装※を誘導するとともに省エネルギー機器設置住宅に対する容積率の緩和をすることにより省エネ住宅の建設を促進し、ヒートアイランド現象の抑制を図ります。また、雨水貯留槽の設置を誘導することにより、水資源の活用を促進します。

えどがわエコセンター※が商店街、学校等と連携を図りながら実施する、再利用水を活用した打ち水キャンペーンを支援します。

※ ヒートアイランド現象:都市中心部の都市活動の結果として生じる気温上昇現象。

※ 住宅等整備事業における基準等に関する条例:中高層共同住宅、一定規模以上の土地利用の基準等を定めたもの。

※ 透水性舗装:雨水の地中への浸透により、雨水流出抑制、雨天時の歩行性の向上等に効果がある舗装。

※ 保水性舗装:道路の舗装断面に保水機能をもたせた舗装。雨天時に吸収した水分を晴天時に蒸発させ、気化熱を奪うことにより路面の温度が下がる効果が期待できる。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード	534	年次計画		
計画事業内容	20年度	21年度	22年度	
雨水貯留施設の整備	1基(300m ³)	同左	同左	
事業費	28,350千円	28,350千円	28,350千円	
公共施設の屋上緑化	3施設	4施設	3施設	
事業費	21,000千円	28,000千円	21,000千円	
民間屋上緑化の促進	促進件数 100件	同左	同左	
	見本園の活用及び広報	同左	同左	
		パンフレット等の作成		
事業費	100千円	300千円	100千円	
打ち水キャンペーンの実施 再掲 501	打ち水大作戦の実施	同左	同左	
事業費	—— 千円	—— 千円	—— 千円	

「—」:事業費は、エコセンターとの協働(施策コード:501)のなかで計上しています。